

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 26 日現在

機関番号：34317

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008 年～2011 年

課題番号：20520062

研究課題名（和文）「縁起性」の視点による関東・親鸞伝説の立体的試みに関する研究

研究課題名（英文）Multi-faceted research on Kanto-region legends concerning Shinran, from the viewpoint of *Engisei* (superstition concerning good and bad luck)

研究代表者

堤 邦彦 (TSUTSUMI KUNIHICO)

京都精華大学・人文学部・教授

研究者番号：60163846

研究分野：近世国文学（仏教説話）

科研費の分科・細目：哲学・宗教学

キーワード：宗教学、宗教史、宗教伝説、親鸞、縁起、二十四輩

1. 研究計画の概要

関東二十四輩寺院における親鸞伝説と巡礼信仰について絵伝、参拝帳、民俗信仰などの諸方面から立体的にせまることで地域における二十四輩信仰のあり方を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

絵伝については、全国的な広がりが見えてきている。また参拝帳については、数点その存在が確認できた。さらにミニ巡礼地については、現在までに 18 カ所が確認されており、その幾つかについて聞き取りなどの調査を終えている。

3. 現在までの達成度

当初の計画の 90 パーセントまで達成。ほぼ計画通りである。

4. 今後の研究の推進方策

本年度は最終年度となるため資料の整理や考察の深化、必要に応じて補足調査などを実施。最終報告書を作成する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 2 件）

堤邦彦「蓮如上人・幽霊済度の島」（『芸能文化史』2010 年 3 月）

堤邦彦「勸化本と絵解き一幡随意上人伝の画像化をめぐる一」（『遊楽と信仰の文化学』、森話者、2010 年）

〔学会発表〕（計 0 件）

〔図書〕（計 1 件）

堤邦彦、徳田和夫編『遊楽と信仰の文化学』（森話者、2010 年）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕